

## 「医工連携フォーラム&タウンミーティング」報告書

金沢医科大学と金沢工業大学の連携によって、「医工連携フォーラム & タウンミーティング」が平成 22 年 3 月 6 日に開催されました。この取り組みは、両大学の連携、つまり医工連携によって実施する「安全・安心・健康な社会づくりの創成を担う人材育成」の成果を、産学民の中で共有することを目的に実施するものです。当日は、両大学の教職員、学生、地元企業、地域住民を含め、約 200 名の方々が参加されました。

この「医工連携フォーラム & タウンミーティング」の基調講演には、株式会社アールエフ代表取締役社長の丸山次郎氏をお迎えし、アールエフが取り組む医工連携ビジネスについてご講演を頂きました。

講演では、企業としてこれまで発展されてきた経緯を踏まえ、医工連携分野における海外も含めた市場規模の大きさや、ものづくり企業としてのお客様志向の重要性、さらには、中小企業として新たな市場へのチャレンジをするスタンスの必要性など、具体的な事例を踏まえご教授いただきました。

講演を聴いた教職員は、「丸山氏のご講演の雰囲気そのものに熱意が感じられ、世界から注目される企業の勢いを肌で感じ取ることができ、この医工連携分野における教育研究の成果を、地元企業の方々と共有し、地域活性に貢献できるように更なる努力が必要。」と、産学連携を視野に入れた医工連携教育研究の実践に意欲を燃やしていました。また、カプセル内視鏡の存在を知って基調講演を聴きにきた学生は、「SF 映画の世界と思っていた技術が、既に実用レベルにあり、その応用を踏まえてさらなる技術開発が進められていることから、医工連携分野における技術者の活躍の場が想像以上に広がっている。」と目を輝かせていました。今回の丸山氏のご講演は、両大学の教職員、学生さらには地元企業にとって、さまざまな気づきを与えて頂き、今後の医工連携による充実した教育研究の実践に繋がっていくと実感しました。

なお、基調講演終了後には、両大学が取り組む医工連携教育研究の成果を体験できるブースが設けられ、訪れた地域住民が、認知症予防のためのゲーム体験や、時間と共に体内の子供の成長がリアルに体験できる妊婦ブース、さらには、看護を学ぶ学生による健康ツアー等を体験し、医工連携分野が身近な生活に組み込まれていることや、その重要性を感じ取っていました。



体験ブースの様子